

2018 年度
インターンシップの手引

<薬学部生用>

目 次

2018年度インターンシップスケジュール	1
I. インターンシップとは	2
II. インターンシップの流れ	3
III. インターンシップ応募方法	4
IV. インターンシップへ参加する際の留意事項	4
V. インターンシップ期間中の保険について	6

2018年インターンシップ スケジュール

日 時	内 容	備考
5月9日(水)	インターンシップ説明会 担当:勝見知恵子(本学カウンセラー)	4限・501 教室
5月12日(土)	講義:「インターンシップの目的と意義」 講師:上田晶美 (株式会社ハナマルキャリア総合研究所)	3限・501 教室
5月12日(土)	講義:「自己分析」 講師: 町澤京子(本学カウンセラー)	4限・501 教室
5月16日(水)	SPI模擬試験 ※予備日:5/19am	詳細は後日おしらせ
5月19日(土)	講義:「履歴書・エントリーシート の書き方」 講師:勝見知恵子 (本学カウンセラー)	3限・501 教室
5月19日(土)	講義:「ビジネスマナー」 講師: 前田泰子(株式会社 J-Labo)	4限・501 教室
5月26日(土)	講義:「業界研究」 講師:池内伸 (株式会社矢野経済研究所)	3限・501 教室
6月27日(水)	参加決定者ガイダンス	詳細は後日おしらせ
8月～9月中旬	インターンシップ参加	各企業・団体
9月22日(土)	インターンシップ成果報告入力締切	Active Academy 入 力
9月29日(土)	成果報告会	詳細は後日おしらせ

I. インターンシップとは

インターンシップとは「学生が一定期間企業などで研修生として働き、将来のキャリアに関連した就業体験を行える制度」です。期間は数日から数カ月まで、会社によって様々です。長期インターンシップが最も多く実施される時期は「大学5年生の夏」で、6月前後から参加の募集が始まります。採用活動の後ろ倒しに伴い、大学5年生の冬休みやその後の春休みに実施する企業も増えてくる可能性があります。

インターンシップの種類

- ◆**仕事体験型** : 社員の方の監督のもと、実際の業務を経験する体験型のインターンシップです。比較的短期のプログラムが多くなっています。
- ◆**見学型** : 様々な部署、現場、施設を見学して、説明を受け、雰囲気を感じることができます。
- ◆**グループワーク型** : 提示された課題に沿って、少人数でグループワークを行います。社員の方がアドバイザーと関わり、中間報告をし、最終日にはプレゼンし、社員がフィードバックするものもあります。
- ◆**セミナー型** : 社員の方から講演や研修を受ける形式のインターンシップです。その企業の業務に関するグループワークが実施されることもあります。

インターンシップのメリット

- (1) 職業意識の形成
- (2) 責任感、自立心の向上
- (3) 適職の確認
- (4) 大学での学習意欲の向上
- (5) 専攻、学習分野での知識の向上
- (6) 企業、社会からの評価の確認

インターンシップとアルバイトの違い

アルバイトの募集は「労働力が足りない」という理由で行われるのに対し、インターンシップ学生に就業体験の機会を与え、ビジネスの現場や働くことを理解させ、自分の学業生活や将来のキャリアプランに役立てて欲しいという目的で実施されています。そのため、専門知識を活かして成果を上げられる場合以外は無報酬です。(ただし、交通費や必要経費は、支給される場合もあります。)

また、研修内容も企業の仕組みや各セクションが担う業務を理解できるよう工夫されています。「仕事や企業について知りたい」という意欲を持つ学生の期待に応える制度である点がアルバイトとの大きな違いです。

インターンシップの応募条件や選考について

インターンシップの応募条件は企業によって様々です。応募の際にしっかりと条件を確認してください。業務に関連する学科のみを募集する企業もあります。多くの企業が5年生や修士1年生を対象に募集を行います。しかし最近では大学1年生や2年生から参加できるものもあります。

また、ほとんどの企業において、インターンシップ募集時点で書類選考や面接が行われます。企業はインターンシップに様々なメリットを求めており、学生が持っている専門技術や知識を必要としているところがあれば、意欲的な学生に触発され、社内が活性化することを期待しているところもあります。よって学生へ求める要件もはっきりしており、それに見合う学生かどうかを判断するために選考を行います。

II. インターンシップの流れ

1. インターンシップ説明会（薬理合同）※推奨

5月9日（水） 時間 14:40～16:10 場所：理学部Ⅲ号館501教室
※企業のインターンシップを検討している学生向け

2. 講義 ※推奨

下記の講義は、理学部講義時間3時限目（13:00～14:30）、4時限目（14:40～16:10）に理学部Ⅲ号館501教室を使用します。

5月12日（土）3時限 「インターンシップの目的と意義」（講師：上田晶美先生）

5月12日（土）4時限 「自己分析」（講師：町澤京子先生）

5月19日（土）3時限 「履歴書・ESの書き方」（講師：勝見知恵子先生）

5月19日（土）4時限 「ビジネスマナー」（講師：前田泰子先生）

5月26日（土）3時限 「業界研究」（講師：池内伸先生）

3. 参加者向けガイダンス（インターンシップに参加が決定した学生を対象）※任意

6月27日（水）16:20～17:00 場所：理学部Ⅲ号館501教室

4. インターンシップへの応募

応募の方法は個人で応募

5. インターンシップ参加企業決定後の大学への手続き ※必須

インターンシップ参加企業が決定したら下記の手続きを行ってください。

「インターンシップ実施機関決定報告」（Active Academyより入力）

6. インターンシップ参加

8月1日～8月24日

7. インターンシップ参加終了後の手続き

受入企業にお礼のメールまたは手紙を書く

（メール：終了日当日、手紙：終了日から1週間以内）

8. 成果報告会 ※任意

薬理合同

9月29日（土）9:30～12:30 詳細後日お知らせします

Ⅲ. インターンシップ応募方法

個人で申し込む

ホームページ上等に掲載されている募集情報をもとに、学生個人でインターンシップに申し込みます。受け入れ企業の検索方法としては、以下のものがあります。

◆インターネットによる検索

リクナビ・マイナビなどのインターンシップサイトや各企業のHP
千葉県庁インターンシップ情報
国家公務員インターンシップ情報

◆キャリアセンターHPより検索

キャリアセンターHP>インターンシップ情報>インターンシップお役立ちサイト
※大学にきた情報はインターンシップ情報（薬学）一覧より閲覧できます。

◆学外インターンシップイベント

学外の会場でインターンシップに関する情報を提供するイベントが開催されます。
詳しくは各サイトを閲覧してください。例年6月頃の開催です。

★個別相談★

インターンシップの探し方、履歴書・エントリーシート の書き方など、個別で相談したい場合はキャリアカウンセラーが対応します。予約の申込はActiveAcademyより行ってください。
※6月分の予約は5月25日（金）8時45分より開始。原則、1人月2回までの申込が可能。

Ⅳ. インターンシップへ参加する際の留意事項

インターンシップ参加にあたっての基本的留意事項を挙げましたので、参考にして下さい。

インターンシップ参加前

- (1)HP等を利用し、受入れ企業・団体の概要を理解しておきましょう。
- (2)研修日、時間帯を確認して下さい。
- (3)事前に交通経路を確認して下さい。道順等、不安な場合は下見しておきましょう。
- (4)受入れ企業・団体等から事前資料（施設概要や学外研修の注意事項）を渡されている場合は、よく読んで、当日必ず持参して下さい。
- (5)インターンシップと両立できないアルバイトは避けて下さい。
- (6)直前のキャンセルは厳禁です。やむを得ない場合、企業、及びキャリアセンターに必ず連絡を入れてください。

インターンシップ実施中

1. 持ち物

- (1)インターンシップの手引
- (2)印鑑
- (3)学生証
- (4)健康保険証（携行できない場合は、記号番号を控えておくこと）
- (5)手帳、ノート、レポート用紙、筆記用具等
- (6)受入れ企業・団体等から指定されたもの
(注) 受入れ条件等を必ず確認し、日用品等については最小限にして下さい

2. 心 構 え

- (1) なんのためにインターンシップに参加するのか、目的意識をしっかりと持ち参加してください。
- (2) 指定時間の15分前には集合場所に着くよう心がけましょう
- (3) まず受付に立ち寄り「インターンシップでお世話になります、東邦大学の〇〇です」と伝えて下さい。
- (4) オリエンテーションの内容をよく聴きましょう。分からないことはそのままにせず、積極的に確認をとりましょう。
- (5) 職場での良好な関係づくりのために、挨拶や返事は積極的にしましょう。挨拶はコミュニケーションの第一歩です。挨拶等によって相手の持つ印象も大きく変わりますので注意して下さい。当然、言葉づかいにも注意が必要です。
- (6) インターンシップ参加者としてふさわしい身だしなみを心がけましょう。(特に茶髪、ピアス、不精ひげ、長い爪、作業の邪魔になる髪形や装飾品、過度な化粧や香水等に注意してください) ※インターンシップに不要な貴重品や、多額の金品等は持ち込まないで下さい。

3. 注 意 点

- (1) 全般に関して
 - ① 受入れ企業・団体等の方針や約束事を守り、インターンシップ受入企業の指示に従って活動して下さい。
 - ③ インターンシップ中に知り得た個人情報、企業情報は漏らさないでください。また、研修中にメモをとる場合は、企業の指導責任者又は担当者に可否を確認して下さい。
 - ④ 当日、遅刻する場合や事故・病気等でやむを得ず欠席する場合、必ずインターンシップ受入企業へ電話にて連絡して下さい。
 - ⑤ インターンシップ中、携帯電話は電源を切りましょう。
 - ⑥ 備品は大切に扱い、使ったものは所定の置き場に戻して下さい。
 - ⑦ 行き帰りの途中、飲食や喫煙をしながら歩いたり、大声で人と話すことなどは慎んで下さい。
 - ⑧ 任された仕事は責任をもって行い、終了後はインターンシップ受入企業担当者に必ず報告して下さい。
 - ⑨ 特定の政治活動、宗教活動は行わないで下さい。
- (2) 健康・衛生面について
 - ① 持病や障害があり、研修上の配慮が必要な場合は事前に申し出て下さい。
 - ② 研修中に具合が悪くなった場合は早めにインターンシップ受入企業担当者に申し出て下さい。

4. 最終日について

- (1) 受入れ企業・団体等でインターンシップの成果発表会の機会がある場合は、率直な感想を述べましょう。
- (2) お世話になった職場の皆さんへインターンシップが終了する旨を伝え、謝意を述べて下さい。
- (3) インターンシップ終了後、1週間以内に御礼状(手紙またはメール)を書きましょう。

V. インターンシップ期間中の保険について

インターンシップが決定し事前にキャリアセンターに報告があった場合には入学時に加入した下記の保険が、万一の事故の場合に適用されます。(インターンシップに参加している学生本人が傷害等を負う場合と、学生が受入企業または第三者に損害を与える場合の2通りが想定されます。)

また、企業によっては別途保険への加入が必要な場合もあります。

※みなさんがインターンシップに参加していることを大学が把握している必要があります。

必ずインターンシップ実施機関決定報告をしてください。

※保険加入の証明書を企業・団体から求められた場合は、キャリアセンターに申し出てください。

1. 学生教育研究災害傷害保険について

インターンシップの研修中(受入れ企業・団体等において拘束されている時間)は、現在加入している「学生教育研究災害傷害保険」の「正課中」に該当します。したがって、インターンシップの研修中の災害については、同保険約款の範囲内で保険金が支払われます。それ以外の時間における事故については補償の対象外となります。

2. 賠償責任保険について

大学が教育活動の一環として位置付けるインターンシップの研修中に他人のケガや財物に関する損害賠償に対して保険金が支払われます。